

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成28年1月22日 NO.82 (282)

モンタ博士「くだもの『クイズ第2問』は少しむずかしかったかな。答は下を見てね。」



(ミカン) (リンゴ) (ブドウ) (カキ)

オー君 「なるほど。ぼくは、ぜんぜんできなかったな。」

花ちゃん 「ふだん見ているくだものでも、花となると見ていないということですね。」

モンタ博士「まあまあ、できなくても当然だよ。ところでね、これまたむずかしいことを聞くけど、上の4つのくだものは何科の植物かわかるかな。」

花ちゃん 「ミカンは、ミカン科ですね。それから、ブドウはブドウ科、カキはカキノキ科ですね。でも、リンゴって何科だろう。わかんないわ。」

モンタ博士「そうだね。むずかしいね。リンゴはバラ科といって、サクラやバラの仲間なんだよ。ミカン科とバラ科は花びらが5枚なんだよ。カキは花びらが4枚なんだ。だから、カキの実は4角形になっているんだよ。それから、ブドウには花びらがいないだろう。ブドウの仲間はね、花が開くとすぐに花びらが落ちてしまうんだよ。」

オー君 「そういえば、ウの写真には花びらがいないですね。なるほどな。」

花ちゃん 「クイズの第3問はないんですか。」

モンタ博士「そうだね。その前に、みんなはミカン、ミカンといっているけど、けっこういろいろな種類があるんだけど、知っているかな。」

オー君 「え！ミカンって一種類ではないんだ。」

モンタ博士「いろいろな種類があるんだよ。それもたくさんあるんだ。それじゃ、第3問は『いろいろなミカンクイズ』にしよう。下の写真をよく見てごらん。そして、

何^{なん}というミカンかをあててごらん。これはむずかしいぞ！」ヒント:数字は字数。



() 4



() 4



() 5 (漢2ひ3)



() 4



() 4



() 3



() 8

オー君 「ウエー!!!こんなにたくさんあるの。ぼくわかんないよ。」

モンタ博士「^{した}下の表が^{ひょう}ヒントだよ。よく^み見て^{かんが}考えてごらん。」

温州ミカン	種がなく、皮がうすくてむきやすい。もっともたくさん食べられている種類。温州(うんしゅう)とは中国の地名だが関係なく原産地は鹿児島県。栽培は明治時代から。
あまなつ	夏みかんからぐうぜんに生まれた品種である。ほんのりと苦みがあるが、それがまたおいしい。おもに4月から7月に出荷される。写真は少し小さ目。実物は大きい。
はっさく	旧暦(月の満ち欠けをもとにした暦)で8月1日を「八朔」(はっさく)とよび、このころから食べられるために、この名前がついた。これもちょっと大きめのミカン。
ネーブルオレンジ	中国原産のオレンジがヨーロッパにへてブラジルにわたり、そこで変化した品種と考えられている。ネーブルとは、英語で「おへそ」の意味。なるほど、へそみたいだ。
デコポン	清見にポンカンをかけて作った新品种。皮がむきやすくあまい。へたのまわりがつきでている。デコポンは熊本で出荷する場合。愛媛ではヒメポン。広島ではキヨポン。
きよみ	温州ミカンとオレンジをかけあわせて作られた品種。見た目はオレンジに近いが、実やわらかくて、香りがゆたか。おもに3月から5月に出荷される。
いよかん	ミカンの仲間では、温州ミカンの次に生産量が多い。皮は厚いがむきやすく、香りが豊か。おもに2月から3月に出荷。イヨ(伊予)は愛媛県で全国生産の3/4が愛媛。

オー君 「ウエー!!!こんなにあるの。まいったな。」(答えは裏にあります)

モンタ博士「^{なかま}ミカンの仲間はまだまだあるんだ。キンカン、グレープフルーツ、なつみかん、フンタン、ユズ、ライム、レモン、カボス、サンボウカン、スウィー・テイ、スダチ、ダイダイ、タンカン、ポンカン、フッシュカンなどだね。」

くだものクイズ第3問の答



(デコポン)



(いよかん)



(温州みかん)



(あまなつ)



(はっさく)



(きよみ)



(ネーブルオレンジ)